

食道癌・胃癌診療における新型コロナウイルス感染症の影響に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2009年1月から2021年12月の間に当院において食道癌・胃癌の診断を受けた患者さん

2. 研究目的・方法・期間

新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療体制は大きく変化しました。特に悪性腫瘍の診療においては、いわゆる“受診控え”により発見が遅れ、進行癌の状態で見られる患者さんがしばしばいらっしゃいます。本検討では、新型コロナウイルス感染症の流行前後で、当院において食道癌・胃癌の診断を受けた患者さんの診療状況に生じた変化を後方視的に解析します。研究期間は学校長承認後から2027年12月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、既往歴、採血結果、画像データ、病理検体診断結果等の情報を、すべて対応表を作成した匿名化を行ったあとで研究に利用します。患者さんに新たな侵襲を加えることはなく、既存の試料を後方視的に検討する研究です。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

得られた個人情報、防衛医科大学校の個人情報管理者の指導のもとで、本研究に携わらない外科学講座の永生高広がすべての個人情報を厳重に管理します。個人情報は、匿名化（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判定できないよう、管理されたものに限る）し、対応表を適切に管理するなど、漏えい、滅失又はき損の防止その他の安全管理を行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 3

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：防衛医科大学校 外科学講座 講師 菅澤英一（研究責任者）

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1216